

郵政民営化の末路 1

“米政府や多国籍企業が 郵政民営化で一番もうける”(WSJの記事より)

<http://www.asyura2.com/0505/senkyo13/msg/126.html>

投稿者 kerogaso

日時 2005年9月01日 11:49:03: 9br6ZD/XKVfwo

“米政府や多国籍企業が 郵政民営化で一番もうける”

米紙 米金融機関の試算報道

しんぶん赤旗より

http://www.jcp.or.jp/akahata/aik4/2005-09-01/2005090102_03_0.html

【ワシントン＝浜谷浩司】小泉首相の郵政民営化で「もうけるのはだれだ？」

—米経済紙ウォール・ストリート・ジャーナル八月二十六日付は、刺激的な見出しで、一番もうけるのは米国債や株を発行する米政府や多国籍企業だとする記事を掲載しています。

記事は郵政民営化に期待を寄せる米国の政府と資本の見方を示したものの。それによると、米金融機関シティーグループは、郵政民営化で郵便貯金と簡易保険が「民間の手に落ち」た場合、「三兆ドル」の郵貯・簡保資金の大部分が従来とは異なる市場に流れ込むと分析し、その行き先を試算しました。

米財務省証券（米国債）と欧州債券、日本と外国の株式が「大勝利」を収めるというのが、その結論。一方で、郵貯制度の恩恵に浴してきた日本の国債市場は「大敗北」を喫するとしています。

シティーグループは、郵貯・簡保の民営化によって、国債、地方債、社債を含む日本の債券市場から一兆三千七百五十億ドルが流出すると試算。投資家は有利な運用先を探すが、千二百七十億ドルは米国債へ、六百四十億ドルが欧州のユーロ債へ、五千二百十億ドルが日本の株式市場に向かうとみている。

郵政民営化の末路 2

同記事は、INGグループ（ロンドン）のエコノミストによる試算として、郵貯・簡保が百八十七兆円の日本国債を抱える一方で、外国証券には八兆五千億円しか投じていないと指摘。

日米間の国債利回りの開きからみて、「(民営化後の) 郵貯、簡保の新しい所有者がより大きな利益を求める理由は容易に理解できる」としています。

今夏、新たな謀略で郵貯が紙くずになるかもしれない (JanJan ニュース)

<http://www.asyura2.com/09/senkyo68/msg/226.html>

投稿者 紅の酢豚 日時 2009 年 7 月 29 日 11:18:31: 1dyuYJkh9BIKs



<http://www.news.janjan.jp/government/0907/0907267779/1.php>

7月16日(木)、東京・調布市で国民新党の国会議員による「郵政民営化見直しへの道」と題する講演会が行われた。その中で、郵便貯金が今危ないという。

「ゆうちょ、かんぽがそれぞれ抱える日本国債が平成20年から平成22年にかけてそれぞれ75兆円、18兆円分の満期を迎える。それを米国がねらってよこせと要求している。オバマのグリーン・ニューディール政策の資金源にしたいということである。」

- ・親友の郵便局長さんからの憂国の手紙 (森田実の時代を斬る)

<http://www.pluto.dti.ne.jp/~mor97512/C05537.HTML>

さらに、もうすぐドルが紙くずになるという指摘もある。田中宇の有料ホームページより抜粋する。

引用開始 ---

米国の投資家向けニュースレターであるハリー・シュルツ・レターは、「米政府は、いくつかの国の米国大使館に巨額のドル現金を送金し、その金で現地通貨をひそかに大量購入させている。大使館が使う1年分の費用を、現地通貨建てで持たせている。

7月21日、米議会から委託され、米当局による金融救済資金の使い方を監視している担当官（Neil Barofsky）が議会で証言し、米当局（財務省、連銀、預金保険制度FDICなど）が金融危機に対する救済金として用意した50種類の政策の融資や支出の枠の総額は、8カ月前の8.5兆ドルから、現在は23.7兆ドルへと、3倍に急増していると指摘した。

--- 引用終わり

アメリカ自身が既にドル崩壊を予期していることになる。そんなときに、郵貯をアメリカに渡したらどうなるのだろうか。もしかしたら、あなたの郵貯は紙くずになるかもしれない。

竹内春一 2009/07/29